

(平和写真館提供)

体育館より東方金華山を望む

## ご挨拶

同窓会会長 井深透

本校は創立以来六十年になんなんとし近く創立六十周年を迎えると致して居るので御座います。同窓会の会員も今や一万六千有余名を数うるに到りまして各方面に堂々と御活躍御精進されて居ります事は誠に御同慶の到りに存する次第で御座います。

同窓会の過去一年間の歩みを御報告申し上げますと新年早々ラグビー部創立三十周年の記念試合が寒風膚をさす一月二日に母校グランドに於いて行われ試合終了後、岐阜会館に於きまして記念パーティが行われ、国會議員の野田先生並びに県ラグビー協会の役員を始め百有余名の会員が出席され非常に盛大で御座いました。

一月には揖斐郡の教職員の方々の総会が御座いまして五十有余名の出席者があり、これ又盛大に行われました。

八月第三土曜日の十九日、本校の同窓会が大野町武道館に於いて行われ多数の恩師の出席のもとに八十有余名の出席があり、なごやかなムードの裡に盛大に開催されました。

名古屋支部の総会が十一月十八日に行われ私と八代副会長並びに関谷校長、東屋教頭、同窓会担当の富田先生が出席致し久方振りに会員の皆様のお元気な姿に接し、共に語る機会を得ました事を喜んで居る次第で御座います。

同窓会は北方町、岐阜市、大野町の三ヶ所に於いて持廻りで毎年行われる慣例になつて居ります。昭和五十四年度は北方町にて開催され時期は会則により八月の第三土曜日に催される事に成りて居ります。当日は多数の会員の御出席を期待致して居ります。

同窓会は同じ学びの園を築立ち致しました者が一堂に会し、且つこの青春時代に思いを致し、なつかしい数々の積る思い出話を共に語る事の出来

る機会で御座います。世代の相違は御座いますが同窓会と云う組織を通じまして会員お互が友情の輪を拡げ且つ友情の絆を強めて参り度いと存じます。

年の瀬も近づいて参りました折柄、会員の皆様には益々御健勝で御多幸な新春をお迎えされます事をお祈り申し上げる次第で御座います。

## 昭和五十三年度

### 会報告

八月十九日(土)午後二時より、大野町の町立武道館で本年度の総会が開催された。例年のようにポスター、ハガキ等で総会の周知徹底を図ったが、本年度は持ちまわりによる開催地が揖斐郡にあたり、特に支部長兼務の井深会長、梅田昭二氏等のお骨折りで準備がすすめられ、五百通の往復ハガキの発送などで八十名余の出席があり、例年なく盛会であった。

所副会長の司会ではじまり、土屋副会長開会の辞、井深会長の挨拶、関谷校長の挨拶のあと、杉山都氏を議長として議事に入つた。事務局より会務報告、会計決算報告、西鶴子氏の監査報告、統計で宮川教頭より創立50周年記念奨学金給付報告、更に本年度の事業計画・予算案が事務局より提案され可決。また、明後年にひかえ60周年記念準備委員会の設立、またそのための推進委員会を後日会長より依嘱すること、更に支部強化について八代副会長より提案、可決。最後に役員改選について選考委員長林弘司氏より、去る七月八日の理事会において、全役員を再選、更に新たに菅原智子氏(高13卒)の副会長就任の議決についての報告があり、承認された。

議事は滞りなく進み、無事終了。引き続き懇親会に入った。恩師八名を迎え、各所で和やかな笑い声が起り、夕刻盛会裡に散会した。

ご挨拶

學校長 関谷美智男

かなければと思いました。常に目標に向って前へ進むという学校全体としての清新な気概が最近とみに高い本校教育の評価の源泉ともなっていると思います。

もう一つは、母校愛についてであります。今も生きている若き日の情熱、それを育てた

# 挨拶

のであるのかはつきりと解らず、先輩の方々の後からおずおずと手さぐりでさぐりながらついて行く有様ですが、母校のため誠心誠意の恩がえしをすればよいのではないかと思つております。



A black and white portrait of a man with dark hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is looking slightly to his left with a neutral expression. The background is a plain, light-colored wall.

一校長 感銘を受けました。そして、それが後輩への  
先生、中途の段階 大きな期待にもなっています。深く味わわなければならぬ言葉であります。母校愛とい  
で満足しないで、うはかありません。

一番上を 目指して 本年四月、前校長豊田義道先生のあとをうけ、本校校長としての重責を担うことになりました。それからもう、八か月ほどになりますが、時がたつほどに、本校の深さ、重みをう  
下さい。 ますが、時がたつほどに、本校の深さ、重みをう

本年四月、前校長豊田義道先生のあとをうけ、本校校長としての重責を担うことになりました。それからもう、八か月ほどになりますが、時がたつほどに、本校の深さ、重みを感じとっている現状であります。前記しましたことをその一つであります。

この度皆様のご推薦によりまして、浅学若輩の私ごとき者  
が、この度、本校高等学校同窓会副会長に就任する  
ことになりましたことは、誠に光榮ではあります  
が、はたしてこの大役を果たせるか心配しております。  
先輩の方々にいろいろ教えていただき、若さでもって一生懸命頑張つて  
少しでも母校の御役にたてばと思つております。



教育懇談會

讀書文選卷之三

お伝えしたところ、快よく承諾され、また、県の横山教育長（中十八回卒）もご名上に

岐阜市内の普通科高校の一部には引けを取らないほどに成果を挙げていること、部活動では東海大会や全国大会の出場者数は県下高校の上位五指に入ることなどと、学校報告しましたことをうけてのお話でした。

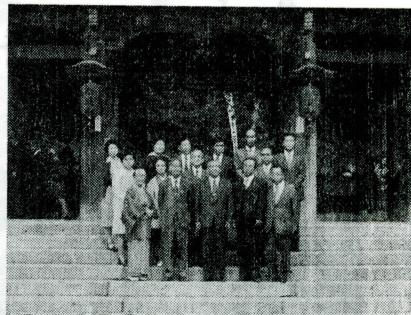
本校は同窓生の皆さんが築いてこられた六十年になんなんとする輝かしい歴史と伝統の上にたっています。そして諸先輩の励ましと愛情につつまれています。この本校に赴任しましてことを喜びとすると同時に、責任の重さを痛感している次第であります。文字どおりの浅学菲才の身ではありますが、本校の大層の充実発展に力を尽す覚悟であります。同窓生の皆様方のご指導ご鞭撻を心からお願ひいたします。

最後に、同窓会の発展と会員皆様の御多幸をお祈り申し上げてご挨拶といたします。

去る五月、後援会役員会で、財团法人加藤記念奨学会を設立された加藤利一氏（中四回卒）をお招きし、後援会としても謝意を表したい、ということが決まり、その旨加藤氏に

## — 横山教育長・加藤利一氏

長（口一ノ回五） もと多忙な  
　　もかかわらず母校のためご出  
　　席いただけるとのことで開催  
　　の運びとなった。



## 校章の誕生

熊澤一雄

母校のこと、生徒のこと、後援会の今後のあり方などが語り合われ、意義深い懇談会であつた。母校並びに同窓諸兄姉の益々のご発展を衷心より希念いたします。

（併中一回昭二十三年卒）

男子は帽子に、女子は胸元に着装した事は云う迄もございませんが、先般、名古屋支部の集いに出席させていただき、現校長先生より母校の近況を耳にし、なつかしく往時をばせていただきました。

続き懇談会。当日は所用のため、や遅れて出席いたいた教員長を交え、始終なごやかな雰囲気の中で、熱心に、

男子は帽子に、女子は胸元に着装した事は云う迄もございませんが、先般、名古屋支部の集いに出席させていただき、現校長先生より母校の近況を耳にし、なつかしく往時をばせていただきました。

母校並びに同窓諸兄姉の益々のご発展を衷心より希念いたします。

（併中一回昭二十三年卒）

## 懐かしさのあまりに

矢橋彦四郎

名古屋文部長 川瀬正一

（第三回卒）

以前同級の井深君より、「何か原稿を」といわれており、また先般は名古屋支部総会で懐しい方々の元気な顔を拝見して、又元気が出てきました。

井深君とお話しを楽しく味わいました。思えば、昭和四年、福井高等工業を卒業し、その六月、岐阜県第一工業学校に奉職し、その後、商工技師として工業試験場、更に昭和二十年十月、全工指導所長として爾来昭和四十三年三月までの二十二年余に亘る金属試験場長としての勤務は、戦後の荒廃、その後の復興のめざましさなどと織り交り感概一入のものがあります。

また、昭和五十二年十一月三日の秋の叙勲に岐阜県の機械金属工業振興に寄与したため勲四等に叙せられ瑞宝章を戴き、又宮中の春秋の間に於て天皇陛下に拝謁を許されました。陛下から「長い間ご苦労であった。今はますます健康に留意して国家社会のため力をつくすように」とのお言葉を賜わり、陛下が還御されたあと一同は退出して、御紋入りのお菓子と煙草を受け取り、そのあとお庭で一同記念撮影を行ないました。

（本中）と記された本集中学の校章を新制本集中学より新制高校への丁度転換期に在学した私にとりまして、現在の校章の制定は今でも忘れ難い思い出の一つでございます。

本集中学の校章を新制本集中学に改める必要上から、当時の教職員間でも種々協議がなされ、結局は、教職員並びに生徒間で任意に考案したデザインを一定期間展示し、全校生徒の投票に依り決定する方法がとられました。

その結果、当時、国語漢文を教えて居られた蜂矢先生（根尾の御出身）のデザインされた現在の校章が、一番票数も多く決定をみたのでございます。

以上長々と自分のことばかり書いてきましたが、世話人の方々が張らねばと考えて居りますが、世話人の方々が、同輩、後輩の諸氏の健康とご健闘を念じてやみません。

（中一回卒）

従いまして同志の方々に御骨折りを願い再建の方法を考え度いと存じます。暫く御待ちます。

乍末筆同窓諸兄に宣しく。

## 支部だより

名古屋支部

名古屋文部長 川瀬正一

（第三回卒）

## 慶賀

会員の皆様には益々御健勝の事とお喜び申し上げます。

本年度（春・秋）それぞれ次の方々が叙勲されました。心よりお祝いお慶び申しあげます。

○中島常雄（昭40・4・3校長）  
勲五等瑞宝章 多年教育界への貢献

○矢橋彦四郎（中一回）  
勲四等瑞宝章（別稿）

○上田文夫（中二回）  
勲三等瑞宝章 多年医学研究・教育に貢献

○横山茂樹（中二回）  
勲五等双光旭日章 多年教育界への貢献

○鬼頭宗一（旧職員）五十周年記念には母校事務室前の大理石の寄贈をうけました。

○駒形覺四郎（昭和28・4・29・3校長）  
昭和53・5・1自宅大垣にて逝去

○早川薰（中15回 本集中学校長）  
昭和52・1・30・自宅にて逝去。

○馬鹿見清（高四回）昭和53・10・12日逝去

○鶴見同窓会も年々御発展の様子にて御同慶に堪えません。

同窓会だよりにて各支部の御活動の模様を承知致して居りまして、京阪支部も大いに頑張っています。

## 京浜支部

京浜支部長 川村福二

謹んでご冥福をお祈りします。

## 計報

報

（本中）と記された本集中学の校章を新制本集中学より新制高校への丁度転換期に在学した私にとりまして、現在の校章の制定は今でも忘れ難い思い出の一つでございます。

本集中学の校章に改める必要上から、当時の教職員間でも種々協議がなされ、結局は、教職員並びに生徒間で任意に考案したデザインを一定期間展示し、全校生徒の投票に依り決定する方法がとられました。

その結果、当時、国語漢文を教えて居られた蜂矢先生（根尾の御出身）のデザインされた現在の校章が、一番票数も多く決定をみたのでございます。

（本中）と記された本集中学の校章を新制本集中学より新制高校への丁度転換期に在学した私にとりまして、現在の校章の制定は今でも忘れ難い思い出の一つでございます。

本集中学の校章に改める必要上から、当時の教職員間でも種々協議がなされ、結局は、教職員並びに生徒間で任意に考案したデザインを一定期間展示し、全校生徒の投票に依り決定する方法がとられました。

その結果、当時、国語漢文を教えて居られた蜂矢先生（根尾の御出身）のデザインされた現在の校章が、一番票数も多く決定をみたのでございます。

## 昭和五十三年度部活動の成果

## 会員異動

昭55年名簿のまま (同)

トヨタカローラ  
名古屋取締役

天白区高坂町二  
東洋エレクトロニクス技術部長

朝霞市宮戸一  
朝志ヶ丘住宅二

○バレーボール部 女子  
全国高校総体八回連続十三回出場、東海高  
校総体第三位、中部日本大会第二位、県高  
校総体十三回連続優勝

○ソフトボール部  
全国高校総体八回連続出場、中部日本  
大会第三位、東海高校総体八回連続出場、  
県高校総体七回目優勝

○陸上部  
東海高校総体川本久美子走り高飛び第五位  
全国高校総体川本久美子走り高飛び出場、  
県高校総体川本久美子走り高飛び第三位、  
高崎美寿子一〇〇m第五位

○ハンドボール部  
県春季選手権大会第三位

○ラグビー部  
東海高校総体第三位

○バトミントン部 女子  
地区総体第三位

○演劇部  
県芸術祭参加地区代表創作劇「幽霊と恋人  
たち」

○放送部  
NHK主催放送コンテスト岐阜県大会朗読

○松尾千恵第二位、林裕子第三位

○演劇大会県大会出場

△転出▽

校長豊田義道(岐阜高校長)藤井淳(加茂高教頭)牛嶋修(不破高)田原英夫(長良高)古田温(羽島北高)松浦勇(岐阜丸山宏(斐太高)三輪喜久子(長良高)高井律子(中濃高)松井稔(岐陽高)田口峯之(岐陽高)

△転入▽

校長 関谷美智男(山県高校長)東屋恵昭(博物館)大石秀次(多治見北高)小木曾典孝(華陽高)加藤建二(羽島高)小屋由紀子(武義高)園部公致(郡上高)高橋利藏(山県高)高橋幸仁(岐南工業事務長)部谷正己(岐阜第一女子高)棚橋啓司(五十一年六月)

△退職▽ 河口澄子△新任▽ 伊藤貴美子

## 同窓会だより

### 本校教職員異動(五十三年四月)

○バレーボール部

○ソフトボール部

○ハンドボール部

○ラグビー部

○演劇部

○放送部

○バトミントン部

○地区総体第三位

○演劇大会県大会出場

△転出▽

NHK主催放送コンテスト岐阜県大会朗読

○松尾千恵第二位、林裕子第三位

○演劇部

△転入▽

校長 豊田義道(岐阜高校長)

○転出▽

牛嶋修(不破高)

○転入▽

田原英夫(長良高)

○転入▽

古田温(羽島北高)

○転入▽

松浦勇(岐阜高)

○転入▽

丸山宏(斐太高)

○転入▽

三輪喜久子(長良高)

○転入▽

高井律子(中濃高)

○転入▽

松井稔(岐陽高)

○転入▽

田口峯之(岐陽高)

△転入▽

校長 関谷美智男(山県高校長)

○転出▽

東屋恵昭(博物館)

○転入▽

大石秀次(多治見北高)

○転入▽

小木曾典孝(華陽高)

○転入▽

加藤建二(羽島高)

○転入▽

小屋由紀子(武義高)

○転入▽

園部公致(郡上高)

○転入▽

高橋利藏(山県高)

○転入▽

高橋幸仁(岐南工業事務長)

○転入▽

部谷正己(岐阜第一女子高)

○転入▽

棚橋啓司(五十一年六月)

△退職▽

河口澄子△新任▽ 伊藤貴美子

○転入▽

伊藤貴美子

○転入▽

常磐女学院

○転入▽

指導課題長補佐

○転入▽

熊沢富徳社長

○転入▽

名古屋市中村区草薙町

○転入▽

今井るみ子(日井)

△退職▽

河口澄子△新任▽ 伊藤貴美子

○転入▽

成瀬文雄

○転入▽

名和貴太郎

○転入▽

伊藤貴美子

○転入▽

高橋武揚

○転入▽

高橋玲子

○転入▽

水野良信

○転入▽

竹中信行

○転入▽

山田千秋

○転入▽

熊沢一雄

○転入▽

成瀬常男

○転入▽

池戸常男

○転入▽

成瀬文雄

○転入▽

成瀬常男

○転入▽

○バレーボール部

○ソフトボール部

○ハンドボール部

○ラグビー部

○演劇部

○放送部

○バトミントン部

○地区総体第三位

○春季選手権大会第三位

○県春季選手権大会第三位

○バレーボール部

○ソフトボール部

○ハンドボール部

○ラグビー部

○演劇部

○放送部

○バトミントン部

○地区総体第三位

○春季選手権大会第三位

○県春季選手権大会第三位

○バレーボール部

○ソフトボール部

○ハンドボール部

○ラグビー部

○演劇部

○放送部

○バトミントン部

○地区総体第三位

○春季選手権大会第三位

○県春季選手